



## Press Release

2020年3月5日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086  
神戸市中央区磯上通 5-1-28  
www.lilly.co.jp

EL20-09

本資料は、米国イーライリリーが2020年2月20日（米国現地時間）に発表したニュースリリースを日本語に翻訳したもので、内容および解釈については原本である英語が優先されます。なお、適応症と安全性重要情報など一部情報は海外のもので、日本の情報ではありません。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。

### リリー、Dermira 社の買収を完了

**2020年2月20日インディアナポリス** – イーライリリー・アンド・カンパニー（以下リリー）

（NYSE：LLY）は本日、Dermira, Inc.（以下Dermira社）（NASDAQ：DERM）の買収を無事完了したことを発表しました。この買収により、IL-13に高親和性で結合するよう設計された開発中の新規モノクローナル抗体であるlebrikizumabを加え、リリーの自己免疫疾患領域の開発パイプラインは拡大します。lebrikizumabは、12歳以上の青少年および成人の中等症から重症のアトピー性皮膚炎患者さんの治療を目的として、第Ⅲ相臨床試験プログラムで評価されています。Dermira社の買収はまた、原発性局所多汗症（コントロールできない過剰な腋窩の発汗）に対する外用治療薬としてFDAに承認された医療用シートQBREXZA®（glycopyrronium）を加えることで、リリーの既存の皮膚科領域製品ポートフォリオを拡大します。

Dermira社の全ての発行済みの普通株（一株18.75ドル）に対するリリーの株式公開買付けは、予定どおり、2020年2月19日東部標準時午後11:59から1分後に期限を迎えました。株式公開買付け期限の時点で、Dermira社の発行済み普通株式の約74.8%にあたる40,926,025株が有効に入札され、適切に撤回されなかったため、株式公開買付けの条件下で支払が認められています。株式公開買付けの完了に続き、リリーは予め計画していた2段階合併によりDermira社の買収を完了しました。

「Dermira社の買収が完了したことをうれしく思います。慢性皮膚疾患患者さんの新たな治療選択肢の開発に向け、重要な務めを引き継ぐことを楽しみにしています」とリリーのシニアバイスプレジデント、バイオ・医薬事業部プレジデントのPatrik Jonssonは述べています。

リリーによるDermira社の買収により期待される財務への影響については、最新の2020年の財務見通しに反映しています。

#### イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。イーライリリー社の詳細については [www.lilly.com](http://www.lilly.com) 及び <http://newsroom.lilly.com/social-channels> をご覧ください。

## 日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.lilly.co.jp>

*This press release contains forward-looking statements about the benefits and financial impact of Lilly's acquisition of Dermira. It reflects Lilly's current beliefs; however, as with any such undertaking, there are substantial risks and uncertainties in implementing the transaction and in drug development. Among other things, there can be no guarantee that Lilly will realize the expected benefits of the transaction, that products will be approved on the anticipated timeline or at all, or that any products be commercially successful. For further discussion of these and other risks and uncertainties, see Lilly's most recent Form 10-K and Form 10-Q filings with the United States Securities and Exchange Commission. Except as required by law, Lilly undertakes no duty to update forward-looking statements to reflect events after the date of this release.*